

2020年度

Soy Town (お醤油の町野田)

バドミントンキャンプ

バドミントンを通じた国際交流
世界のバドミントンと暮らしてみました

期日：2021年2月27日（土）

時間：10：30～12：00

場所：野田市関宿総合体育館サブアリーナ

リモートも同時開催（zoom）


主催：NPO法人アルファアバドミントンネットワーク

後援（今後交渉）：スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム

後援（今後交渉）：JICA千葉デスク

お話しする人

- 白井巧（進行）

JICA青年海外協力隊事務局技術専門委員バドミントン
（元モルディブバドミントン協会公認コーチ）

- 伊藤幸太

NTTコミュニケーションズ

（元ドミニカ共和国バドミントン連盟公認コーチ）

- 鈴木雄太（zoom参加）

札幌市立小学校教員

（元シリアバドミントン連盟公認コーチ）

- 麻生賢太郎（zoom参加）

現パラグアイバドミントン連盟公認コーチ

（元ヨネックス国内営業部）



白井巧 (しらいたくみ)



伊藤幸太 (いとうこうた)



鈴木雄太（すずきゆうた）



麻生賢太郎 (あそうけんたろう)

前列右端

壁にスクリーンとなる布を設置
タテ2mX横3m



2020年度会場となる写真：野田市関宿総合体育館サブアリーナ
参加定員50名予定



2019年度写真

12月7日

野田市関宿総合体育館会議室



講演会内容抜粋（取り急ぎのアイデア）

- ・ 登壇者たち自己紹介
- ・ 各国のバドミントンの紹介
- ・ 現地での指導上の悩み
- ・ 現地の日常生活
- ・ 私たちは何を伝えることができたのか
- ・ 私たちは何を学んだのか
- ・ 途上国生活クイズ（モルディブ、ドミニカ共）
- ・ 各国のコロナ感染状況と人々の予防対策
- ・ **2014年12月**アルファでは、シリア難民を知るための講演会を開催し、お手玉を作って現地へ送った。
- ・ 雄太は、なぜ大学に入り直したのか？
シリア難民ゲータリキャンプ生活体験の出来事
- ・ なぜバドミントンで途上国を目指すのか
- ・ 登壇者たちの今後の活動について

講演目的

- ・ 参加者たちに、世界に関心を向けてもらう契機とする。
- ・ 世界には、様々な人々がバドミントンをしていることを伝える。
- ・ コロナ禍でも世界各地でバドミントンが行われていることを伝える。